

殖管理成績の向上と円滑な入退牧などの利用者ニーズに対応してまいります。また、ふん尿処理体制の充実に向け、処理施設の更新整備を継続してまいります。

鳥獣被害対策については、放牧地への電気柵設置を継続し、被害の防止に努めてまいります。

町有林の整備については、安定した事業量を確保し、林業就業者の雇用を図るとともに、持続可能な森林保全を推進するため、計画的な森林施業を進めてまいります。

私有林の整備については、厚岸町森林組合と連携し、民有林振興対策事業と森林環境譲与税を活用した補助制度を継続してまいります。

担い手対策については、引き続き、森林整備担い手対策推進事業などを支援するほか、関係機関と連携し、林業就業者の育成・確保に努めてまいります。

町民の森植樹祭については、地域ぐるみの森づくり事業として、引き続き支援してまいります。

森林資源の利用については、町有林施業による林地残材を堆肥センターの水分調整材などに活用するほか、温水プールにおける木質バイオマスボイラーの燃料としてパルプ材を活用してまいります。

路網の整備については、道営事業により別寒辺牛2号線の整備を継続



また、厚岸町雇用対策連絡会議を通じて、町内の企業や団体、厚岸翔洋高等学校と新規採用などの雇用対策に関する情報の共有を図るほか、町内事業所への就職を促進するため、企業説明会を開催いたします。

このほか、専門技術の習得や季節労働者の通年雇用を促進するため、釧路地方職業能力開発協会などと連携し、各種研修機会の提供を行ってまいります。

労働環境の向上については、子育てや介護と仕事を両立し、安心して働くことができる職場づくりを促進するため、事業者等に対し、働きやすい環境整備のための制度の情報提供を行ってまいります。



してまいります。

きのこ菌床センターについては、国内のしいたけ販売価格の低迷や燃油高騰など、生産者を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。良質な菌床の安定供給に努めてまいります。また、生産者への優良な情報提供を行うとともに、菌床料の減額措置を継続してまいります。

新規生産者誘致については、地域との連携による研修体制支援や菌床の無償提供を継続してまいります。

生産者の組織化については、地域生産者の一体化に向けた意見交換の場を設けるなど、必要な支援を行っ

みんな笑顔で健やかに、 つながり支え合うまち

子ども・子育て支援については、本年度を始期とする『第3期厚岸町子ども・子育て支援事業計画』の基本理念に基づき、引き続き子どもを安心して産み育てることができるよう、ちづくりを推進するとともに、支援の充実を進めてまいります。

幼児教育・保育については、感染症対策や熱中症防止など児童の安全確保を図るとともに、保育所における全ての子どもの保育料と食材料費の無償化および幼稚園に対する副食費の助成を継続いたします。

また、妊娠前から子育て期にわたる包括的支援の取り組みについては、不妊治療費用の自己負担に対する助成制度や、妊娠出産等の支援の継続のほか、子育て応援アプリによる情報提供、出産祝金10万円の支給、子育て世帯の外出支援に対するハイヤー券の交付、ファミリーサポート利用料の助成、子育てお助けブックの配付、妊婦健康診査通院費の助成など、本町の独自事業を継続すること、子どもとその家庭および妊産婦等を対象とした切れ目のない支援を進めてまいります。

福祉医療制度については、子育て家庭の経済的支援として、高校生までの医療費無償化を継続いたします。

てまいります。

商工業については、依然としてエネルギーや食料品価格等の高騰が続いていることから、引き続き商工業者の事業継続と町民の生活支援を図るため、第6弾となる『がんばろう厚岸応援券』を発行いたします。

中小企業の振興については、厚岸町商工会や金融機関と連携し、融資制度や設備投資への支援制度の活用を促進するための周知を行うなど、『厚岸町中小企業振興計画』に基づく各種取り組みを進めてまいります。

また、『特産品等開発支援制度』のさらなる利用促進を図り、ふるさと納税返礼品にも繋がる魅力ある特産品開発を支援するとともに、各種催事において特産品のPRを展開してまいります。

観光については、国内旅行や訪日外国人旅行がコロナ禍以前の状況に戻りつつある中、厚岸霧多布昆布森国定公園などの地域資源を活用した魅力ある観光地づくりを進めるため、『厚岸町観光振興計画』に基づき、厚岸観光協会や関係機関と連携し、自然や食、歴史・文化を活用した特色ある観光事業を展開してまいります。

また、令和6年度に阿寒インターチェンジから釧路西インターチェンジまでが開通した道東自動車道の利用・誘客促進キャンペーンを、近隣市町村とともに実施してまいります。

町民の健康推進については、『第3期みんなすこやか厚岸21』で掲げた『幼児のむし歯が多い』『成人の喫煙率が高い』『塩分摂取量が多い』の3点の重点課題をはじめ、各分野ごとに設定した目標値の達成と、さらなる健康意識の向上のため、本計画に基づく取り組みを推進してまいります。

食育の推進と自殺対策については、地域特性や地域事情に合わせ、関係機関・団体等と連携した取り組みを引き続き推進してまいります。

保健予防については、町民一人一人の命と健康に関わる分野であり、生活習慣病の予防と疾病の早期発見のため、がん検診や特定健康診査、



厚岸味覚ターミナル・コンキリエについては、総合観光雑誌『北海道じゃらん』の道の駅ランキング・飲食部門において、全道127駅中、14年連続1位を獲得するなど、観光中核拠点施設としての役割を果たしてきました。

来館者数や売り上げは、コロナ禍以前を上回る状況になってきていますが、依然として物価高騰の影響は大きく、経営を圧迫していることから、引き続きマスメディアによる情報発信を行うほか、地場産品を活用した食の提供や厚岸の魅力発信に取り組んでまいります。

また、施設の適切な維持管理を図るため、魚介市場冷蔵ショーケースとレストランのエアコンを更新するほか、新たに整備した電気自動車用充電設備の供用を開始いたします。

このほかの観光施設については、訪れる皆さんにとって利用しやすい環境を整えるため、子野日公園内電線の地下埋設や、藤棚の拡張を行うほか、原生花園あやめヶ原園内の整備を進めてまいります。

雇用については、町内就業を促進するためホームページやIP告知情報端末による町内求人情報の公開と、ハローワークとの連携による求職・求人情報提供サービス、事業者が雇用を維持するための各種制度の周知を引き続き行ってまいります。

後期高齢者の生活習慣病検診の受診の必要性和制度の周知のほか、早期から健康意識を醸成するため、19歳から生活習慣病健診および保健指導を行い、町民の健康維持を推進するとともに、近年の環境や社会情勢の変化に伴う新たな健康課題に対して町民への情報提供や相談対応などに努めてまいります。

また、日常生活に支障を来す恐れのある带状疱疹や高齢者肺炎球菌については、定期予防接種の対象年齢にかかわらず、リスクの高い65歳以上の人へのワクチン接種費用に対する助成を進めてまいります。

感染症対策については、重症化リスクの高い子どもや高齢者への感染予防を進め、今後も流行期における迅速かつ適切な情報提供や対応に努めるとともに、流行の拡大を防ぐため、町内の医療機関や関係機関で構成する感染症情報共有連絡会議を通じて、各種感染症に対する危機意識の高揚と予防接種の勧奨を行ってまいります。

町立厚岸病院は、町民の命と健康を守り、だれもが安心して生活できる地域社会を支える中核的な医療機関として、信頼される安心な医療の提供と、患者とともに進める患者目線の地域医療を推進してまいります。

診療体制については、本年4月から新たに1人の常勤医師を加え4人